

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKo lab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 118

2025.December

Q & A

ココラボの
木の家づくり参考書

ココラボの 木の家づくり参考書



“森林と向き合い、職人と共に木の家をつくる”をテーマに、設計と職人がワンチームになり、木の家づくりに真剣に取り組んでいます。



木や漆喰、土や紙などの自然素材を使い、陽や風を取り込み、心地よいと感じる空間づくりを目指しています。

フォーコーリー構法、ハウスメーカーが独自に開発した構法など、それぞれの特徴があり、選択肢も多かつた時代でした。その後住宅の技術や研究が進み、また、大きな災害や気候の変化もあり、高気密高断熱住宅や免震住宅など、様々な住宅が注目されました。その頃私も家族が増え、自宅を建てたいと考えるようになり、同時に自分の進む建築業界の道についても意識するようになっていました。家づくりにおいては、生まれたばかりの長女のアトピー性皮膚炎が私たち夫婦の大きな悩みとしていつも頭の中にあり、建築業界でも化学物質によるシックハウスが大きな問題となっていました。二つは必ずしも同じ問題ではないのですが、少しでも症状が良くなるのであれば、化学物質の少ない自然素材で家を建てたいと強く思うようになりました。家を建てるに当たっては、子供たちへの負担の少ない素材での家づくりが最優先でした。家が完成して20年、木や漆喰などの自然素材で家を建つ事が出来、この家で子供たちと共に健康に暮らせた事が本当に良かつたと思っています。

今回のテーマと少し離れた話になつてしましましたが、お伝えしたい事は、現代の家づくりも様々な住宅会社があり、住まい手が自分たちに合った家づくりを自由に選択できると考えていると思いますが、実は知らないうちに選択肢は狭くなり、一般的なレールの上だけを進んでいる家づくりになつてゐる事もあります。現代の家づくりは、簡略化された構造体や省エネ住宅、一定の仕様による税金や融資、保険や補助金の優遇制度などがあります。あたかもそれらが当たり前の家づくりだと思つてゐる方も多いと思いますが、視点を変えて見るとその他にも大切な要素はたくさんあり、当社が取り組んでいる自然素材と職人の手仕事でつくる家づくりもその一例だと思います。高い技術による職人の仕事や、国産材利用の意味、陽や風、植栽や火といった自然エネルギーを取り入れた暮らしなど、数字や写真では分かり難い事かもしれません、家づくりの中で大切にしたい事はたくさんあります。

今回の特集では、ココラボの木の家づくりの参考書と題して、木の家を建てるために知つておいていただきたい基本的な事やこだわりなどを取り上げ、ココラボの家づくりも一つの選択肢として知つていただきたいと思い特集しました。少しでも今後の家づくりの参考になれば嬉しく思います。

Q3 ココラボの木の家の安全性能や快適性能について、教えてください。

A 住まいに必要な大切な要素のひとつが安全性能ですが、一口に安全性能と言っても様々あり、地震に対する安全や、健康に対する安全、バリアフリーなどの生活の安全などについて検討していく必要があります。快適性能についても同じで、断熱性能や気密性能だけでなく、陽や風の入り方や窓から見える景色のつくり方、照明の明るさや様々なデザインや植栽なども快適に暮らすために必要な要素だと思います。当社では、住宅性能評価制度を利用して耐震や断熱性の評価を行うと共に、自然素材を中心とした素材の提案や、暮らしやすい動線、心地よいデザインなど、毎日快適に暮らすことのできる木の家の設計を心がけています。

【安全性能】

- ◆ 耐震等級3に合わせた耐震壁の配置と床剛性を確保し、自社にて構造計算を行い、着工前に住宅性能評価制度の評価書を発行する。
- ◆ 無垢の木と漆喰を基本的な内装仕上げとし、健康を害さない素材を使用する。
- ◆ 基本的な建具は全て引き戸を採用し、出入り口や畳などは段差のない設計を行う。地震時や台風時に備えて、造り付け家具や窓ガラスの飛散防止処置の提案なども行う。



性能について

A

【快適性能】

- ◆ 板倉構法、在来構法共に断熱等級4を標準とし、希望により断熱等級5以上の仕様も可能。耐震等級同様に、自社にて外皮計算等を行い、住宅性能評価制度の評価書を発行する。
- ◆ 季節毎の太陽の日射を考慮して、窓の大きさや方位、軒の長さ等を設計する。窓にはハニカムサーモスクリーン等を採用し、日射や冷気の対策を施している。
- ◆ お庭の植栽も設計の一部として計画し、四季を楽しめる住まいを提案している。

Q1

家づくりにどのくらいの期間がかかりますか？ どんな打ち合わせがありますか？

A

ココラボのつくる木の家は、間取りや素材選び、細部のディティールや設備器具選びなど、じっくりと時間をかけて行っています。ハウスメーカーによっては打ち合わせ回数に制限があると聞いた事もありますが、当社では納得のいくまで打ち合わせを繰り返し、設計者も施工も満足する設計を心がけています。工事の期間に関してもほとんどの仕事を職人の手で行うため、天候や季節にも左右し、また、養生期間や乾燥期間も良い家を建てるために必要だと考えています。ハウスメーカーなどと比べて比較的時間のかかる家づくりになると思いますが、良い家を建てていくために必要な時間だと考えていただきたいと思います。

相談

約3ヶ月

設計

約6ヶ月

工事

約6ヶ月

要望をお伺いしてからプランを作成し、基本的な素材や設備を仮決定して、全体費用の概算見積もりまで行っています。プラン作成前に事前調査を行い、土地の条件や問題点なども調査した上で全体の計画はとても重要で、今後の実施設計の元となるため、慎重に進めていきたいと考えています。プランと概算見積もりの提示後、設計契約を行います。

図面作成に合わせて数回の打ち合わせを行います。打ち合わせでは、細部のデザインや空間の設計をはじめ、窓や家具、設備や素材などの仕様を決めていきます。当社の特徴として、キッチンや洗面台なども造り付けの家具として設計図を作成し、使い勝手を考えながら住まい手に合わせた高さや引出しの数や形状、天板や扉の素材についても要望を伺って決めていきます。設計の最後に詳細な積算を行います。積算後でも変更は可能で、予算に合わせながら工事金額を決定していきます。

設計と工事金額決定後に工事の契約を行い、着工の準備を行います。まずは地鎮祭からスタートし、基礎工事、木工事、仕上げ工事と進んでいきます。工事中にも現場にて月に1回程度の打ち合わせを行い、電気配線の最終確認や部材の発注前の再確認、仕上げや外構の打ち合わせなどを行います。打ち合わせと合わせて工事の進捗を見ていただき、だんだんと家が出来ていく工程も家づくりの醍醐味として楽しんでいただきたいと考えています。

Q4 引き渡し後のアフターケアと補償期間について教えてください。

A

木の住まいは、日々の暮らしの中で使われながら様々に変化し、経年変化と共に成長していきます。木の色艶も良くなり、だんだんと落ち着きのある風合いになっていくと同時に、メンテナンスが必要な部分も出てきます。当社では、引き渡し後の定期点検を実施し、1年目と10年目は無料点検、3年、5年、7年は有償にて定期点検をご案内しています。10年後も5年毎の実施を推奨し、住まい手と共に木の家の経過を見守っていきたいと考えています。木の家のお手入れについては、よくご相談をいただく内容を中心にメンテナンスマニュアルを作成し、定期点検時にお掃除の仕方をお伝えしたり、希望者には専門家によるお掃除も承っています。引き渡し後も経験豊富なスタッフが住まいに寄り添い、住まい手と共に木の家を育てていきたいと思います。

【定期点検】

1年点検 [無償点検]

- ◆ 基本点検
 - ・ 内部仕上げ（床、内壁、天井）
 - ・ 外部仕上げ（外壁、軒天井）
 - ・ 水廻りの床下・建具・家具・水廻り設備

3年点検 [有償点検]

- ◆ 基本点検（1年点検と同様）

5年点検 [有償点検]

- ◆ 基本点検
- ◆ 構造躯体・漏水点検
- ◆ 外構点検
- ◆ 各設備機器
- ◆ 薪ストーブの煙突

7年点検 [有償点検]

- ◆ 基本点検
- ◆ 仕上点検 [クロスの剥がれ、タイル目地、EP・漆喰の亀裂]
- ◆ 外構点検
- ◆ 各設備機器
- ◆ 薪ストーブの煙突

10年点検 [無償点検]

- ◆ 基本点検
- ◆ 仕上点検（7年点検と同様）
- ◆ 外構点検
- ◆ 各設備機器
- ◆ 薪ストーブの煙突

10年以降は、5年毎に10年点検と同様の点検内容



アフターケアについて

Q2

家づくりの予算を教えてください。 どんな費用がかかりますか？

A

家づくりの予算は、建築本体費用や設計費用だけでなく、敷地の高低差や地盤条件、水道や下水道の有無、また、家づくりに求めるこだわりによっても変わっていきます。そのため、所謂“坪単価”だけを聞いて家づくりの費用の参考にするのは危険で、敷地の調査をしっかりと行い、自分たちが求める住まいのイメージを設計者に伝えて、トータルの費用で考えていく事が重要だと考えています。当社では、敷地の調査やプランの作成、概算見積もりまでを基本的な計画として行わせていただいているので、ご遠慮なくご相談ください。

【家づくりに掛かる費用】

- | | |
|---------------------|--|
| ◆ 建築本体工事費 | 木の家本体に掛かる各工事費用の合計。屋外給排水工事、浄化槽工事、照明器具費用なども含まれる |
| ◆ 設計費用 | 基本設計、実施設計、工事監理、各種申請費用（建築確認申請、住宅性能評価申請）などの費用 |
| ◆ 外構植栽費用 | 駐車場工事やアプローチ工事、ウッドデッキや板塀、お庭づくり費用など |
| ◆ カーテン、ブラインド等の費用 | 障子は本体工事に含まれる。広間の大きな窓にはハニカムサーモスクリーンを提案している |
| ◆ エアコン、薪ストーブなどの付帯費用 | エアコンはお客様に本体を購入していただき取り付けを当社で行う。薪ストーブの煙突工事、本体取付工事など |
| ◆ 地盤改良費用（軟弱地盤の場合） | 設計時に地盤調査を行い、地質データにより判断する。改良方法にも数種類あり、地盤の強度に合せて選定する |
| ◆ 水道本管引込費用 | 宅地に水道が引込まれていない場合にかかる費用。前面道路より水道管を引込む |
| ◆ 登記費用など | 分筆、農地転用、建物表示登記、保存登記、抵当権設定登記、所有権移転登記など敷地や持分の状況などにより異なる |
| ◆ 諸経費 | 契約印紙代、融資手数料、地鎮祭費用、建前費用、引越し費用、仮住い費用、電化製品、家具購入費用など、細かな費用も計上しておくことが大切 |



予算について

Q7 薪ストーブやペレットストーブについて教えてください。

A

当社の家づくりでも多くの住まい手が採用されている薪ストーブやペレットストーブは、暖かさと合わせて豊かなエコライフスタイルのアイテムとして選ばれています。電気や化石燃料で得られる暖かさは手軽で便利ですが、エアコンの風や乾燥が不快だったり、ファンヒーターや石油ストーブの臭いも気になります。また暖房エネルギーについても考えることが大切で、環境への負担を考えると、一人一人が意識を変えて取り組む問題でもあると思います。当社では、薪ストーブやペレットストーブを通じ、失いかけている火の魅力も伝えていきたいと思います。

【薪ストーブの魅力】

薪ストーブは、建物や人を暖めてくれ、ぽかぽかと、まるでお風呂に浸かった時のような感覚で体の芯まで暖めてくれます。暖かさも魅力の一つですが、炎の揺らめきやパチパチとなる音もとても心地よく感じます。薪ストーブは薪の調達やメンテナンスなどの手間も掛かりますが、キャンプや旅行前の準備のように、それ自体を楽しむ事が出来れば、一年を通したライフスタイルとして手間も楽しむ事が出来ると思います。

【ペレットストーブ】

ペレットストーブは薪ストーブに比べて手間が掛からず、手軽に炎や暖かさを楽しむ事が出来ます。木材を固めたペレットを燃料とし、タンクから自動で燃焼室に落下して燃えます。ペレットストーブの機種も様々で、国産メーカーと海外メーカーなどがあります。ペレットストーブを選ぶポイントは、使用する事が出来るペレットを調べ、ペレットの種類や調達方法を調べておく事が大切だと思います。海外メーカーのペレットストーブは、使用出来るペレットが限られている事も多く、入手しにくい場合もあるので注意してください。



Q5 ココラボの木の家の特徴とこだわりを教えてください。

A

当社の木の家づくりは、静岡県産の木材を使用し、地域の職人たちと共に家づくりを大切に考えています。静岡県は天竜流域をはじめ、大井川流域や安倍川流域にも林業が栄え、良材の杉や桧が成長しています。木材を使うことで森林の活性が行われ、森を守る事が川や海、そして地域に暮らす私たちの暮らしにも大きく関係してきます。“木の家づくりを通して暮らしを考える”をテーマとして、森と職人などの様々な関わり合いを大切にした家づくりを行っています。

【板倉構法の家づくり】

当社の家づくりは、“板倉構法”と呼ばれる、杉の厚板を柱の間に落とし込んだ構法が特徴です。杉の厚板による粘り強い壁や、杉板を室内に表した仕上げは、耐震性に優れ、化学物質の少ない健康で安心した住まいをつくる事が出来ます。また、板倉構法ではたくさんの国産材を使用し、高度な大工技術も必要な構法です。この板倉構法の家づくりを通じて、日本の森林問題や環境保全、健康な暮らしや大工技術の継承についても住まい手と共に考えていきたいと思います。

【職人との協働の家づくり】

木の家は、家づくりに関わる職人の技量大きく変わっていきます。ですが、高い技術があるても独りよがりの仕事は好ましくなく、思いやりの無い施工は、他の職人を困らせ仕上がりにも左右します。建築は多くの人が携わり、すべての仕事の積み重ねで出来ています。自らの仕事は見えなくなってしまっても、丁寧な下地づくりを行い次の職人へのバトンタッチすることが、良い家づくりに欠かせない要素だと思います。当社では、職人同士のチームワークを大切に考え、家づくり集団“て組”を結成し、ワンチームで家づくりを行っています。



Q8 キッチンやお風呂はオーダーでつくれますか？

A

現代の家づくりの中では、キッチンや浴室はユニット設備が当たり前で、衛生設備メーカーとハウスメーカーのオリジナル設備を選択する事が多いと思いますが、当社では、キッチンも浴室も住まい手に合わせて制作しています。その他にも洗面化粧台や玄関収納、本棚やソファーなども造り付け家具として設計し、住まい手の要望や使い勝手に合わせて制作しています。多くの設備や家具が既製品となり、物に人が合わせる事が多いと思いますが、一度設置すれば毎日使用する事になり、少しのストレスも大きな負担となっていきます。当社では、家具の製作も大工や建具屋等の職人が行いますので、家と一緒にいたった雰囲気でつくる事が出来ます。

【木でつくる浴室】

当社のつくる浴室は、青森ヒバとサモタイルを使用して現場で製作している在来浴室です。現代の多くの浴室はユニットバスだと思いますが、サイズや使い勝手などの自由な選択が出来ず、また、新材でつくられた浴室は木の家との相性も悪く新材の臭いも気になります。在来浴室と聞くと水漏れやメンテナンスが気になる方も多いと思いますが、タイル施工の前の防水処理を行い、青森ヒバの下地にも防水処理を行っています。青森ヒバの香りに包まれた心地よい浴室で毎日の疲れを癒してください。

【ココラボのオーダーキッチン】

キッチンの高さや扉、引出しなど、使う人に合わせて自由に製作する事が出来ます。天板はステンレスの厚板を基本仕様とし、扉や引出しが無垢板や突き板を使用しています。取手や引手などの装飾品は、当社のオリジナルデザインをアイアン作家のアトリエプラトーさんに製作していただいています。引出しの内部形状や仕切り板、食洗機やガスオープンなども自由にレイアウト出来、オーダーワンのキッチンをつくる事が出来ます。



Q6 どんな木材を使っていますか？

A

Q5 でも述べた通り、静岡県はとても豊かな森林を有し、杉や桧が生育しています。特に天竜流域の木材は、樹齢100年の森も多く、先人が枝打ちや間伐などを行なながら大切に育ててきた木が豊富に育っています。当社では、木材を単に住宅の建材として捉えず、産地や樹齢、木の乾燥方法にもこだわった製材所から直接仕入れています。特に難しいのが“天然乾燥”と呼ばれる乾燥方法で、丁寧な管理と長い期間が必要な乾燥方法です。この天然乾燥で仕上げたAD材（エアードライ）の色艶の良い木材にこだわり、製材所とのパートナーシップを結んでいます。

【天然乾燥材と人工乾燥材】

住宅に使われている木材は様々な種類があり、主にハウスメーカーなどで使われている集成材（EW）や、多くの住宅会社使われている人工乾燥材（KD）、そして当社の様な木にこだわった設計者や工務店が使用している天然乾燥材（AD）などがあります。人工乾燥材は、製材された後の木材を高温の乾燥機に数日間入れて乾燥します。短時間で均一に乾燥された木材をつくる事ができますが、重油などの化石エネルギーを使用し、色艶や香りの点でも課題が残ります。天然乾燥材は自然乾燥材とも呼ばれ、2年から3年ほどの期間を掛けて天日乾燥された木材です。自然の力をを使った乾燥方法でとても手間が掛かりますが、雨や日差しなどを避けながら、長い期間じっくりと乾燥され、とても綺麗な色艶が生まれます。当社では主に構造材に天然乾燥材を使用し、色艶の良い木材にこだわった家づくりを行っています。





Q9 お庭も一緒につくってくれますか？

A

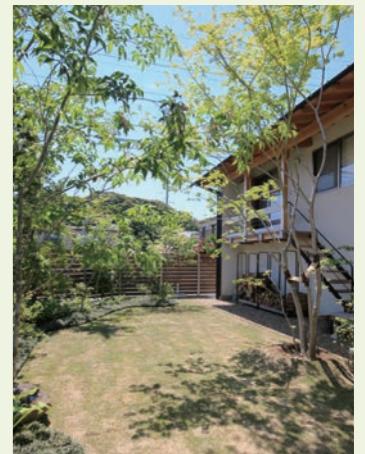
“家庭”的漢字は“家”と“庭”で出来ています。家だけでは単なる建築物であり、庭と一緒に初めて家族が暮らす住まいになると考えています。庭は必ずしも完成された造園でなくても、シンボルツリーを一本だけ植えて、後は時間をかけてゆっくりとつくっていくのも良いと思います。プランの中にも必ず植栽スペースを確保し、庭スペースと一緒に提案を行っています。部屋の窓から眺める植栽、子供たちが駆け回るお庭、好きな花を植えたり畠スペースをつくったりと、庭を楽しみ、家と合わせて豊かな時間を過ごしていただきたいと思います。

【四季の変化が楽しめる庭】

当社の提案するお庭は、主に日本の在来種植物を植えた四季の変化のあるお庭です。ヤマモミジやカエデ、ヤマボウシやアオダモなどの落葉樹を主木とし、オガタマやソヨゴ、モッコクやツバキなどの常緑樹は目隠しを兼ねて周りに植えていきます。建物やデッキに近い寄り付きの木は視線の通る細身の株立ちの木を選び、庭に遠近感を持たせた手法で木の配置を行います。主木の他にも低木や地被植物、景石を使い、自然の山の風景を切り取ったようなお庭を提案しています。

【屋外に出て、みんなで楽しめる開放的な庭】

部屋の中から見て楽しむお庭もいいですが、外に出て楽しめるお庭も魅力的です。ウッドデッキに出てみんなで食事を楽しんだり、芝生のスペースを子供たちが走り回ったり、花壇に季節の花を植えたりするのもいいですね。広めのスペースがあれば、ちょっとした畠をつくって野菜を育てる庭も暮らしの楽しみにつながり、収穫した野菜やハーブで料理するのも楽しそう。住まい手の夢を形にしていくのが私たちの役割、家も庭もまとめて提案いたします。



Q10 家づくりの前に、 土地を探すところから携わってくれますか？

A

私が住宅業界で仕事し始めた30年前は、母屋を建て替えて2世帯で暮らす方も多く、土地探しから家づくりを行う方は少なかったと思いますが、現在は多くの方が新しい土地を購入して家づくりを行っています。当社も土地探しの方を積極的にバックアップし、土地の紹介を行ったり、購入前の土地にどんなプランが出来るのか？土地を含めた総予算は？などの提案も行っています。土地購入には様々な注意点があり、安易に土地を購入すると、住宅の建築に大きな問題を残すことにもつながります。土地の購入前に是非ご相談ください。

土地購入前に知っておきたいポイントと注意点

◆ 法律や土地条件による注意点

土地には様々な法律が関わっており、地域や広さ、接道している道路によっても変わります。建築基準法による制限や都市計画法による規制、農地法や地区計画、区画整理などでも様々な条件をクリアしなくてはいけません。また、土地に高低差があったり、給排水の設備状況などで計画は大きく変わっていきます。土地選びの際には隅々まで条件を確認しましょう。

◆ 土地購入のための税金や登記についてのポイント

土地を購入すると不動産取得税が掛かりますが、この税金は住宅建設の場合は一定期間内に住宅を建てるとき減税があります。また、登記に関しても抵当権設定登記のタイミング（土地購入時 or 建物完成時）で登記免許税が大きく異なります。

◆ 融資のタイミングと流れ

土地購入の申し込み前に、融資の仮審査を行うことをお勧めします。土地の購入は、申し込みから契約、土地の決済と、思っている以上に早いスピード進みます。当社では、土地と建物の総予算をまとめた資金計画書を作成し、融資のサポートも行っています。

木の家相談会とこらぼの家(木の家展示場)を見学できます。開催日は、QRコードからホームページをご覧ください。▶▶▶



Instagramでも発信しています。▶▶▶



<会社概要>

木の建築好き仲間募集

私たちと一緒に木の家をつくりませんか？

当社の建築スタッフは、設計や現場監督の区分けなく、誰もが図面を書き、お施主さんと打ち合わせし、職人との打ち合わせや発注などを行います。一人一人がプロとしての意識を持ち、責任とやりがいを感じて建築に取り組み、達成感やお客様との関わり合いもとても楽しい仕事です。
仕事は決して楽ではありませんが、木の建築を基礎から学べ、毎日の様に職人と関わり、本来の建築の過程を知ることが出来ます。

木の建築に興味のある方は、電話(島田事務所)orメールでご連絡ください。

◇ 募集要項概要

- ・本社に勤務できる方（静岡県島田市）
- ・普通運転免許のある方
- ・建築士（一級・二級は問いません。建築士を目指している方もOK）
- ・宅建士（有資格者）

【島田事務所・こらぼの家@島田】

〒427-0011 島田市東町1370-4
電話：0547-54-4556 FAX：0547-54-4557

【工場・倉庫】

〒427-0011 島田市東町1047-2

<http://www.kokolab.jp>
office@kokolab.jp

KoKolab.

隔月刊 ココラボ通信 No.118
2025年12月発行

発行人 有限会社こころ木造建築研究所
代表 山崎健治
〒427-0011 静岡県島田市東町1370-4
TEL: 0547-54-4556
FAX: 0547-54-4557
<http://www.kokolab.jp>
E-mail: office@kokolab.jp

担当
山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝
印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。

[購読を希望されます方へ]
当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、
E-mailのいずれかでお申込み下さい。
年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円
(上記料金は発送費として頂いております。)
※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通信』、また『ここらぼスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

今回号は、『ココラボの木の家参考書』と題し、よくいただく質問や、私たちから伝えたい事、家づくりを始める前に知っておいていただきたいことを掲載しました。現代の家づくりはとても複雑で、今年の4月に改正された建築基準法を始め、耐震や断熱性能、補助金の種類や税金、融資など、何も知らずに家づくりに飛び込むのはとても危険で、基本的な知識を身につけてからスタートすることをオススメです。ただ、ハウスメーカー・工務店、設計事務所などで重要視しているポイントが異なるので、時間は掛かりますが、自分たちと同じ視点で家づくりをしてくれるパートナー的な建築会社を見つけることが成功の秘訣だと思います。当社も毎月家づくり相談会や展示場の見学日を設け、家づくりの基本的なポイントや木の家の特徴など、様々な事についてお答えしています。(山崎健治)

「ここらぼの家@静岡」
静岡市駿河区新川2丁目5-29
電話: 054-270-7658

ここらぼの家
@静岡(地図)



「ここらぼの家@島田」
島田市東町1370-4
電話: 0547-54-4556

ここらぼの家
@島田(地図)



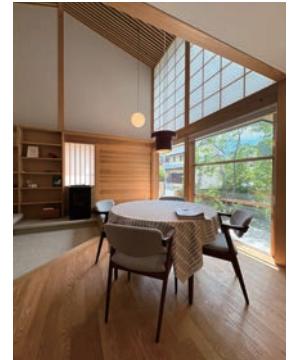
Information

木の家相談会 & 『ここらぼの家』オープン日

当社では「木の家相談会」と「木の家常設展示場見学会」を行っています。家づくりが具体的でない方も、リフォームを検討している方も、まずは一歩踏み出して、実際の木の家に触れたり話を聞いてみてはいかがですか？きっと今後につながるヒントが見つかること思います。

◆ 木の家相談会

家づくりは家族構成や敷地条件などによって様々な入り口があります。また、木材をはじめとした自然素材の使い方によっても建物の性能や雰囲気が変わります。木の家相談会では、一人一人に合った、様々な問題について相談を受け付けていますので、お気軽に何でもご相談下さい。



ここらぼの家@静岡

◆ 木の家常設展示場オープン日 『ここらぼの家』見学

毎月第1土曜、日曜をオープン日とし、展示場を見学していただく事が出来ます。2つの『ここらぼの家』は、それぞれ違ったテーマでつくられており、敷地環境や家族構成、空間のつくり方や素材の選択など、自分たちに合った暮らしを探す中で参考になればと思います。



ここらぼの家@島田

◆ 日時: 2026年1月10・11日(土・日)

2026年2月7・8日(土・日)

10:00～17:00(予約制)

◆ 場所: 『ここらぼの家@静岡』

静岡市駿河区新川2丁目5-29 電話: 054-270-7658

『ここらぼの家@島田』

島田市東町1370-4 電話: 0547-54-4556

暮らしのアイテム販売会

今年も残りわずかとなりました。2025年はどんな年でしたか？私はプライベートも仕事も色々な事があって、夏にデンマークとフィンランドに行った事も楽しい思い出として心に残っています。北欧は憧れの国で、家具や照明は私たちのつくる木の家との相性も良く、小物を含めて様々なアイテムを提案しています。北欧の旅では街のあちらこちらに素敵なお店があり、ポスターや家具、食器や照明器具を見てまわりました。新しい商品もありますが、2ndの食器や家具もたくさんあり、今ではつくられていらないデザインなど、長く使われてきた中でも色褪せない魅力を感じました。旅の中で2ndの食器を少しだけ購入した事をきっかけに、今まで展示場などで使ってきたアイテムと合わせて販売会を行いたいと思い、「暮らしのアイテム販売会」を企画しました。大工のつくる生活小物や2nd家具、食器やポスターなどを中心に、今までの旅で見つけた装飾品や小物などを販売いたします。暮らしの彩りとして、生活にちょっとしたゆとりをプラスしてみてください。皆様と楽しくおしゃべり出来ることを楽しみにしています。

◆ 日時: 2026年2月8日(日) 10:00～16:00

◆ 場所: 『ここらぼの家@島田』

